

■令和6年度 第1回 大和市地域公共交通協議会 会議録（要約）

日 時：令和6年8月5日（月） 14時30分～

会 場：大和市市民交流拠点ポラリス Room3

出席者：別紙の通り

傍聴者：なし

1. 開会

2. 挨拶

3. 議題

（1） 【協議事項】コミュニティバスやまとん G0 の実験運行について

事務局より現在運行している「やまとん G0」深見地域について、運行ルートの延伸および運行ダイヤの変更を実験運行として実施を検討しており、詳細について説明。

（会長）

- ・本議案については時刻表等の詳細や、運賃等協議会による審議が終了していないため9月上旬に、書面にてご承認の可否を確認させていただく予定。

—質疑応答—

（委員A）

- ・「やまとん G0」深見地域の現在の走行距離、時間はどのくらいか。

（事務局）

- ・現在は片道約9km、30分間隔で運行している。今回の延伸に伴う追加距離と時間については手元に資料がないため正確な数字を回答できない。

（委員B）

- ・試験運行後、延伸の継続・廃止の判断はいつ頃行うか。

（事務局）

- ・令和7年度2月末～3月上旬頃を予定

（委員C）

- ・新設するバス停は確定しているか。

(事務局)

- ・警察や地域住民にヒアリングし調整する予定である。

(委員 A)

- ・実験運行に伴い追加費用はかかるか。

(事務局)

- ・減便等を行い現在の運行委託費の中で実験運行を実施する予定である。

(委員 D)

- ・コミュニティバスの利用目的、今後のバス運行の目的を知りたい。また、実験運行開始 2 か月程で延伸可否を判断することは早いのではないか。

(事務局)

- ・公共交通の利用が不便な地域を対象として、日中の移動手段を確保するため、コミュニティバスを運行している。自治会からの要望もあり今回の実験運行に繋がった。また、実験運行開始 2 か月程で延伸可否を判断する理由として、6 か月後（実験運行終了）に中止する場合、事前に周知する必要があるため。延伸可否の判断は、運行事業者と協議し判断していきたい。将来的にコミバスの再編を計画していることもあり、再編までは柔軟に対応していく予定である。

(2) 【協議事項】生活交通改善事業計画の策定について

事務局より、生活交通改善事業計画の策定について、資料に沿って説明し、委員（神奈川県中央交通）より補足説明。

—質疑応答—

(委員 E)

- ・保有している UD 車両は車両全体の何割にあたるか。また、障がいのある方の利用者数はどのくらいか。

(委員 B)

- ・今回の事業の実施後の割合が約 7 割程度である。2025 年までに 8 割を目標にすすめている。障がいのある方の利用人数は集計していない。

(会長)

- ・ それでは本議題について承認をいただける委員の方は、挙手をお願いします。

<全員挙手>

(会長)

- ・ 議題（２）については協議が整ったものとさせていただきます。

(会長)

- ・ 本日の議題についてはこれで終了となる。

4. その他（報告・連絡事項）

（１） 【報告事項】路線バスの路線退出について

事務局より、路線バスの路線退出について、資料に沿って説明し、委員（神奈川中央交通）より補足説明。

—質疑応答—

(委員D)

- ・ 退出する路線に「学校前」バス停があるが、このバス停付近の学校の生徒の通学に影響はないか。

(委員B)

- ・ バス停付近にある学校の生徒が通学で利用することはないと確認をしている。

5. 閉 会